

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・第17回理事会議事録

- 日時：平成27年4月30日（木）14:00～17:30
- 場所：沖縄県庁4階第1会議室
- 出席（役員）：中野義勝、八重山サンゴ礁保全協議会（吉田稔）、沖縄リーフチェック研究会（安部真理子）、沖縄県ダイビング安全対策協議会（小菅陽子）、エコガイドカフェ（猪澤也斗志）、コーラルクエスト（岡地賢）、環境省那覇自然環境事務所（小池大二郎）、後藤亜樹、WWF ジャパン（権田雅之）、自然保護・緑化推進課（謝名堂聡）、宮古島マリリゾート協同組合（新村一広）、西平守孝、沖縄エコツーリズム推進協議会（花井正光）、マングローブEEクラブ（平川節子）藤田喜久、沖縄県衛生環境研究所（金城孝一）、沖縄県立博物館・美術館（山崎仁也）
- 委任状：沖縄県宮古事務所（池間勉）、木村匡、佐藤崇範
- 事務局長：中村章弘
- 事務局：沖縄県環境生活部自然保護・緑化推進課（出井航）
- 運営委員：沖縄県環境科学センター（山川英治）
- 議事録署名人：八重山サンゴ礁保全協議会（吉田稔）、沖縄エコツーリズム推進協議会（花井正光）

役員23名中、上記17名の出席者（会長、副会長、理事15名、事務局長）および3名の委任状により、成立要件である理事の過半数を満たしたので成立、内容を協議し決定した。

議事録署名人として八重山サンゴ礁保全協議会（吉田稔）、沖縄エコツーリズム推進協議会（花井正光）が選出された。

【アンダーライン部分が理事会での決定事項】

【「・」は説明事項および提言事項】

【「→」は説明事項や提言事項に対する意見】

（1）事務局および各委員会からの報告（資料1）

ア. 事務局からの報告

①沖縄サンゴ礁ウィークについて

【実施期間】

- ・3月はじめは、忙しい人も多く、天候もあまりよくなく、時期的によくはないのではないか。
- ・日々行っている活動の制約を受けずにどうやって実施するか検討することが必要ではないか。
3月はじめのサンゴ礁ウィークは徐々に認知されているので、時期をずらすことはしないほうがよいと思う。
- ・準備期間が短いので、年度のはじめから準備をすべきではないか。
- ・サンゴマンス（month）とすると実施しやすいのではないか。
→周知するにはキャンペーン的に集中させる方がよい。
- ・3月はじめは県内高校の卒業式とその準備（予行練習）があるので、2月末から2週の土日は高校生の参加は見込めない。

【参加するメリット】

- ・博物館以外の会場だと会場費が出ないとメリットを感じにくいのではないかな。
- ・今やっている活動を無理のない範囲で取り込むために、少額の助成（1万円）をすることで、ネットワークを強化してはどうか。また、活動での配布物にロゴをいれてもらったり、活動の際に協議会の広報を行ってもらうことで、こちらにもメリットが生まれる。

【広報活動】

- ・活動の総括をする場がないので、関係者で集まって報告会をするなど必要ではないかな。
- ・若手研究者によるサンゴ礁紹介は、実施者が Facebook などを利用して広報を行っており、効果的だと感じた。
- ・サンゴ礁学会のニューズレターで報告されているので、後日事務局に送付されるはず。

【その他】

- ・八重山サンゴ礁ウィークは観光関係者と連携しており、概ね好評だった。
- ・参加者が多いイベントと少ないイベントがある。
- ・誰に関心を持ってもらうかなど、戦略を検討する必要があるのではないかな。

②平成 27 年度事務委託について

- ・協議会事務局作業（協議会事務局作業補助、助成事業に関する事務、会計事務、HP の維持管理など）の一部を、沖縄県環境科学センターへ委託することが提案された。金額は前年度とほぼ同じ。
- ・平成 27 年度事務委託は沖縄県環境科学センターに委託することで承認された。

③寄付対応について

- ・平成 26 年度は、日本ハム、洋服ポストさんごほぜん、千花夏風、カーボンオフセット（沖縄科）からの寄付があった。
- ・日本ハムは寄付の際に、一緒に何かできないか相談されたが、時間的に余裕がなかったため、寄付のみとなった。
 - サンゴ礁ウィークなどの協議会活動のスポンサーとなってもらうのはどうか。
 - 企業の CSR では企業が主体となって寄付を行う場合と、社員が自発的に活動をする場合とあるので、どのような意図があるのか確認するとよい。
- ・洋服ポストさんごほぜんからは、サンゴ礁の現状や保全についてトーク依頼があったため、安部理事に対応いただいた。
- ・協議会の紹介やサンゴ礁の現状についての資料を求められる。引き続き写真やポスター、ステッカー等の資料等を収集、作成したい。
 - おきなわサンゴ礁ウィークの写真を集めるとよい。
 - 写真は著作権を譲ってもらうより、提供した人の名前が入っている方が、数が多く質もよいと思う。協議会の広報で使われることでモチベーションアップにもなる。
 - 提供される写真には肖像権の注意が必要。イベント開催時の告知など注意書きを入れておくとうい。
 - ホームページの会員活動ページを活用できないかな。

- 事務局まで連絡をもらえれば、会員活動ページに追加する。
- ポスター、ステッカーは予算の範囲内で増刷することが承認された。

④リーフレット印刷について

- ・リーフレットを印刷したので、配布に協力いただける理事は事務局まで必要部数を連絡ください。
- 安全対策協議会が主催している写真展などで、リーフレットの配布など協力したい。

イ. 各委員会からの報告

(企画委員会より)

- ・おきなわサンゴ礁ウィークのシンポジウムの企画を実施した。おきなわサンゴ礁ウィークは準備期間が短かったので、今年度は早めに準備を行いたい。

(広報委員会より)

(2) 第8回総会について(資料2)

ア. 総会の日程、会場

- ・総会の日程を平成27年6月6日(土)とすることが承認された。
- 事務局は6/6に使用できる会場を探して、提案する。

イ. 総会の議案

第1号議案 平成26年度活動報告について

- ・わたしのサンゴ礁イメージ展の応募者数とホームページの訪問者数はどれくらいか?
→わたしのサンゴ礁イメージ展の応募者数は少なかった。
→夏休み前からの広報が必要。
→応募者にステッカーをプレゼントするなどしてはどうか。
→ホームページの訪問者数はカウントしていない。
- ・後援、共催、協賛の「緊急国際シンポジウム=おきなわのジュボンに未来はあるのか?!」は中止となった。
- ・サンゴワークショップの開催日とタイトルを「2015」に修正する。
- ・平成26年度活動報告が承認された。

第2号議案 平成26年度収支決算報告書について

- ・監査報告書を添付すること。
- ・平成26年度収支決算報告が承認された。

第3号議案 平成27年度事業計画(案)について

- ・おきなわサンゴ礁ウィークの実施期間を2/27(土)~3/6(日)とする。
- ・ホームページの維持管理では英語バージョンの作成をする。

・平成 27 年度事業計画（案）が承認された。

第 4 号議案 平成 27 年度収支予算（案）について

・平成 27 年度収支予算（案）が承認された。

（3）平成 27 年度サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援助成事業（資料 3）

ア. 各種要領と要綱

・平成 26 年度と同様な実施要綱、各種要領が承認された。

イ. 平成 27 年度助成事業スケジュール

・事務局が提案したスケジュールが承認された。

ウ. 審査会構成員について

・事務局が提案した審査会構成員が承認された。

（4）将来委員会について（資料 4）

・委員長に八重山サンゴ礁保全協議会の吉田稔理事が任命された。

・将来委員会は法人化を含めて検討する。

（5）将来委員会について（資料 5）

・プログラムの助成採択事業の報告はまだ活動中なので、活動の終わっている平成 25 年度助成事業の報告とするのがよいのではないかと。また、平成 25 年度助成事業の報告は実施できていない。

（6）その他

ア. 辺野古海域のサンゴ礁保全推進に関して

・猪澤理事より辺野古海域のサンゴ礁保全推進に関して説明があった。

→沖縄全体で考えた場合、サンゴ礁へ影響を及ぼしている人為的な要因は他にも多くある。
沖縄県サンゴ礁保全推進協議会として、総合的に考える必要があるのではないかと。

イ. リーフチェックトレーニングについて

・安部理事よりリーフチェックトレーニング沖縄島 2015 についての報告があった。